

K E  
気

SGH 通信

K O H  
高海を素材とするグローバルリテラシー育成  
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第 17 号 平成 30 年 7 月 24 日発行

## 防災ワークショップ・防災講演会を実施

～チームとして災害に対応する力を養う～

## 本校の防災学習のねらい

- ◎「命を守る行動ができる人」を育てる。
- ◎発災時行動力に資する「自律的思考力」を涵養する。  
※自律的思考力・・・発災時行動には、状況に応じて命を守るための思考力や判断力が求められる。こうした資質・能力を育成するために必要な命を守ることを主体的に学び考える姿勢
- ◎協働による防災チームの育成を目指す。
- ◎将来にわたって集団や社会に主体的に参画する意欲を養う。

6月27日(水)、6・7校時目に本校の1学年(計240名)を対象に本校防災主任の長根教諭による防災ワークショップ・防災講演会を実施しました。講演の初めに、平成30年6月18日に発生した大阪北部地震での被害やライフラインへの影響などについての話がありました。第1部では「そのとき、どうする?」と題して地震を想定したケーススタディを行いました。地震における揺れの長さや震度の関係や東

## 率先避難

- ・気づいた人から真っ先に逃げる
- ・「津波が来るぞ」「逃げるぞ」と逃げる姿が周囲の避難を促す。
- ・自分の命を最優先に守り抜くことが結果として周りの多くの命を救う

## 徒歩避難

- ・災害時、交通渋滞や道路の形状の変化により車で思うように移動できないことが考えられる為、徒歩で避難所や高台に避難する。
- ・徒歩避難する際は余震による落下物や地面の状況、周囲の交通状況をよく確かめて避難する。

日本大震災の際の津波浸水域の説明を受けた後、「地震が起きて5分後、友人と避難所である気仙沼高校に徒歩で戻り始めました。その途中、道ばたで泣いている小学生に出会いました。」という場面を想定したケーススタディに挑戦しました。「命を守る行動」をするためにどうすべきか、小学生へどのような声かけが必要かなどを考え、グループごとの意見を全体に発表しました。第2部では、長根防災主任からケーススタディの振り返りを交えながら、避難行動の際に必要なことについて話をいただきました。また、「本校の防災学習」についての講演を行いました。今後も、生活防災委員会を中心とした生徒主体の防災訓練や宮城県教育委員会が作成した「みやぎ防災教育副読本」を活用した授業を各教科で実施するなど本校独自の効果的な防災教育を展開していきます。



防災主任からの講話



グループごとのケーススタディ



各グループからの発表

## 春季避難訓練を実施しました

6月12日(火)の7校時、春季避難訓練を実施しました。今回は、「午後14時45分頃、宮城県沖を震源地とする震度6弱の大地震が発生し、津波注意報が発令された。同時に、南校舎1階化学室で火災が発生した。」という想定でした。休み時間中に地震が起きた際に、生徒が迅速に身の安全の確保ができるかどうか。また、火災の影響で経路が制限された中でどこから避難するのかの訓練となりました。

避難訓練後には体育館で振り返りを行いました。今回は、訓練の様子を撮影していた映像を見ながら、より迅速に避難するためには何が必要かを考えました。また生活防災委員が中心となって作成した気仙沼高校防災手帳を配布しました。



## テクニカル講座 ～情報収集と表現のテクニックを学ぶ～

6月20日(水)、1学年の「地域社会研究」の時間を3コマ使い、「レポート文章講座」、「IT活用講座」、「図書情報講座」の3つの講座を実施しました。現在は、グループ編成と研究テーマの絞り込みを行っています。テクニカル講座の実施内容は次の通りです。

### ◎レポート文章講座

担当者オリジナルのプリントを用いて、思考方法の広げ方、説得力のある意見文の書き方を学ぶ講座

### ◎IT活用講座

コンピュータを使用し、インターネットを用いての情報検索、新聞データベース検索、論文検索の手法を学ぶ講座

### ◎図書情報講座

文献の探し方、校内外の蔵書検索方法、パスファインダー、レファレンス共同データベースの活用方法、参考文献リストの記載方法を学ぶ講座



レポート文章講座：大講義室



IT活用講座：PC室



図書情報講座：記念館

## 課題研究 I フィールドワーク

7月18日(水)、2学年創造類型37名が課題研究Iの3時間を利用して、今年度2回目となるフィールドワークへ行きました。今回は、自分たちの設定したテーマや調査方法に対する改善策や研究方針について大学の先生から助言をいただくという目的のもと、東北工業大学、東北大学、宮城教育大学、宮城大学、宮城県庁を訪問しました。

今後は、いただいた助言を参考にして研究の方向性を修正し、さらに研究を進めていきます。

## CS 講座 実施

7月19日(木)13時よりクロスカルチャーセミナーを実施し、本校生徒11名が参加しました。今回は海外交流アドバイザーのダニエル・ロス先生に来ていただきました。生徒たちは、ロス先生の自己紹介を聞き、ロス先生への質問を考えるなど、英語での交流を楽しみました。

